

編集後記

4月1日から3日まで、編集子は山梨医科大学のお世話で開催された第70回日本生理学会大会に参加しました。会場はJR 甲府駅から北へ徒歩15分ほどにある山梨大学教育学部・工学部でしたが、丁度桜が満開で、校内の桜もなかなか見応えがありました。本学校内の桜も数年前から一段と美しくなりましたが、残念ながら今年はこの地方の開花が遅れて、満開は4月20日過ぎになるようです。早く咲けばと心待ちにしています。

本号の巻末には1992年の業績目録が掲載されています。例年のごとく著書、論文および学会報告の数を調べましたところ、著書12篇、論文157篇、学会報告209題でした。昨年の著書18篇、論文124篇、学会報告210題より論文数がかなり増加しています。論文は一昨年まで100篇程度でほぼ一定でしたから、昨年、本年と論文数が急増していることが分ります。また、一流の欧文誌に掲載される論文も増えているようで、本学の研究レベルがここ1～2年急上昇している感があります。

本号の総説は、歯科理工学講座の高橋重雄教授にお願いしました。高橋重雄教授は、通産省工業技術院安全用具部会歯科材料専門委員を10年近く、ISOTC106の日本代表委員も6～7年やっておられるので、歯科材料および歯科器械の規格に通暁しておられます。会員諸氏には大いに参考になることと思います。

前号まで本誌のSummaryの英文の添削をお願いしていたカールソン講師は、本年3月で退職されましたので、英文Summaryの添削はウエイツ先生にお願いすることにしました。英文Summaryに関して不明の点がありましたらウエイツ先生にご連絡下さい。

(野村 浩道)

松 本 歯 学 第19巻 第1号 (非売品)

1993年4月25日 印刷 1993年4月30日 発行

編集兼発行者 小 林 茂 夫

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩1-11-30 電話 0263-25-4329